



ダンボールコンポスト体験者からの意見・質問等

これまでにダンボールコンポストを体験された方々に記入していただいたアンケートを基に質問・疑問事項を Q&A 方式にまとめました。また体験者のこんな方法が良かったという意見も記載していますので、これから開始されるにあたってぜひ参考にしてください。

ダンボールコンポストは微生物（生き物）が相手ですので、書いてある通りになることばかりではありませんが、おおらかな気持ちで取り組みを進めてください。

◇ 目次 ◇

虫について	・・・P2
カビについて	・・・P2
温度について	・・・P2
臭いについて	・・・P3
完成について	・・・P4
箱について（雨対策）	・・・P5
資材について	・・・P5
その他	・・・P6

◇ 虫について

Q

ハエ、ミズアブ、ダニ、ウジ虫、などが発生！
虫の対処法は？発生はおさえられないのか。

A

気温の低い時期は虫は発生しにくいですが、気温が上がってくると虫が発生しやすくなります。

発生の抑制方法としては、水分が多いと虫がわきやすくなるため、気温が高い時期は十分水切りをした生ごみをいれてください。

虫が発生してしまった場合には、熱湯をかけると虫を退治できます。しかし、見るのも嫌！続けられない！という気持ちになってしまったなら、土を深く掘って埋めてしまいましょう。



Q

Tシャツ（蓋）の隙間から虫が侵入するようだ。

A

隙間からの侵入を防ぐために、ゴムを掛けるか苗用のコンテナ（かご）をかぶせて隙間を作らないようにしましょう。



◇ カビについて

Q

カビが発生！
毎日混ぜないとカビが発生するので忘れたときは慌てます。
10日程で箱一面に白カビが発生し、やめました。

A

白いカビ状のものは「糸状菌」と呼ばれる微生物です。発酵がうまく進んでいるときに発生するため、気にせず混ぜ込んでください。

◇ 温度について

Q

ごみの温度を計って 30℃位にしたらいと聞いていたので米ぬかと腐葉土を混ぜると 40℃以上になったが、たびたびしないとすぐに温度が下がってしまう。どの程度ならいいのか。
寒さのせいで発酵がストップしている。
始めは発酵していたが、すぐに発酵しなくなり、入れたものがそのままの状態。



A

『発酵』は微生物にとって最適な環境にないとうまく進みません。気温・水分・生ごみ・米ぬかなど最適な分量であれば活発になります。発酵がうまく進むためには空気が必要ですので、ダンボール箱の底部分の通気を確保することと、よく攪拌し、資材の中に空気を取り込んでください。

冬場に、温度を上げて堆肥化のスピードを早めたいという場合には、お湯を入れたペットボトルを差し込むか乾燥状態に応じてお湯をかける方法があります。また、保温も大切ですので、ダンボールを2重にすることや、不要になったブランケットなどを掛けておくことも有効です。



体験談

- ・米のとぎ汁をいれると温度が上がってよかった。
- ・廃食油を入れると温度が上がった。
- ・冬は寒く微生物の活動が低下。熱湯を入れたペットボトルを入れると元気になる。
- ・寒くなり、ダンボール内も温度が上がりにくいいため上に新聞紙を置いて蓋をしてナイロンをかけています。



◇ 臭いについて

Q

臭いがきつく近所迷惑になっていないか心配になった。
室内に置くには臭いがきつい。

A

臭いの原因は様々考えられますが、うまく発酵していれば森のようなにおいがします。悪臭がする場合は腐敗していることが考えられます。

夏場であれば、水分が多い場合や生ごみの塊があると発酵がうまくいかず、腐敗し臭いの原因となります。水切りや、投入前にしばらく乾燥させるなどし、よく攪拌してください。

水分が多いようであれば、土を入れてしっとりしているくらいに調整してください。また、米ぬかの入れすぎによって臭いがきつくなる場合があります。たくさん入れれば発酵が早く進むというものではありませんので、投入量を減らしてみてください。それでも気になるほど臭いがきつい場合は土を深く掘って埋めましょう。次第に土に還ります。



体験談

臭いがしたときは茶殻やコーヒーかすを入れると抑えられた。



◇ 完成について

Q

ずっと同じところに入れ続けられるのか、
多くなったら入れ替えなのかわからない。
肥料にするにはどの程度熟成したらいいのか。
どの程度の状態で肥料として使えるのかわからない。
完全な堆肥になっていないような気がする。
最終のごみ投入からどのくらいの期間で利用可能か。



A



生ごみの投入期間については、投入量などが実施者によって違い、一概には言えませんが、ダンボールが傷んできたら（3ヵ月程度）、基材がベタついてきたら、生ごみの投入を止めて熟成させましょう。

熟成は2つの方法があり、一つは土に埋め込む方法、もう一つはダンボールの中で寝かせる方法です。熟成は季節にもよりますが、1～2ヵ月程度かかります。

土に埋め込んでから1ヵ月から2ヵ月経てば堆肥は完成し、掘り返すと、黒々としたフカフカな土になっています。ダンボールで寝かせる場合には乾燥すると発酵が止まるので時々水を加えてください。温度が上がっていなくても発酵は進んでいます。

Q

堆肥化するのに3ヵ月かかると聞くが、3ヵ月前に生ごみの投入をやめる必要があるのか。

A

生ごみの投入をやめてから熟成期間が必要ですが、土の中で熟成させる場合には、土に埋めてすぐに花の苗を植える、種をまくといったことは可能です。ただし、根菜類は塊があると形がいびつになったり二股になったりする場合があります。気になるようであれば、深く掘って埋め込むようにしてください。



Q

堆肥ができたので、庭で使用したら鳥がたくさんやってきた。



A

鳥は小鳥でしょうか・・・？カラスでしょうか・・・？
堆肥化が不十分なまま土に埋めると、カラスや野良猫に荒らされる場合があります。

カラスや野良猫による被害が心配な場合は、土中で熟成させる時に、ビニールシートをかぶせてレンガや石で重石をすると、鳥、野良猫対策になります。

◇ 箱について（雨対策について）

Q

雨のかかる屋外でもう少し簡便にできる方法はないか。
集合住宅のベランダでの保管であったため、
雨水による吸水を防ぐことに気を使った。
ダンボール箱ではなく長期的に使えるものの方がいいと思った。
ダンボールが腐った。箱が弱くなり、交換した。



A

プラスチック製の衣装ケースやバケツでも堆肥化は可能です。ただ、発酵には空気が必要であること、湿気がこもると腐敗する場合もあることから、毎日の攪拌と湿度の管理を行ってください。雨の日のみビニール袋で覆うという対策もあります。

体験談

- ・箱の事前準備が大事。二重底。ガムテープでしっかり補強するとよい。
- ・みかん箱は2重になっているため、頑丈で湿気に強く破れにくい。また保温性も高い。
- ・野菜苗ケースの下に駒をつけたものに箱を置き、移動できるようにしたら便利。

◇ 資材について

Q

米ぬかが足りない。米ぬかが手に入らない。
ごみの量からすると、腐葉土と米ぬかが少なかった。

A

米ぬかはお米屋さんで分けてもらえることもありますし、場所によっては無人精米機から米ぬかを自由に持ち帰れるようになっています。わからない時は市生活環境課（Tel781-5371）へお尋ねください。

◇ その他

Q

混ぜるのを忘れて固くなってしまい続けられなかった。

A



もったいないです！固くなってしまったのは乾燥が原因と考えられます。乾燥すると微生物の活動が休止状態となりますが、水分を与えてやると、再び活動を始めます。忘れずに投入できるよう、配置を日常の動線上に乘せられないかなど工夫してみてください。



体験談

◇ 投入物について

- ・生ごみも野菜中心でなく、魚の内臓、卵の殻、枯葉を入れると効果がある。
- ・米ぬかを入れると分解が早まった。
- ・野菜くずは小さく水分のあるコーヒーかす、お茶の葉はよく絞り、一晩おいて乾燥させて投入しています。
- ・家族が少なく生ごみの量が少ないが、庭先の剪定枝・花を細かく切って堆肥作りをしています。
- ・野菜残さはなるべく細かく切って入れる。

◇ その他

- ・混ぜるときにスコップではなくゴム手袋をはめて底から全部かき混ぜた。
- ・なるべく減農薬の野菜にし、よく洗い、皮ごと食べる。ブロッコリーは芯まで食べる。
- ・食べ残しの無いよう、食べきりサイズで作るよう心がけています。

